



## プロの技を学ぶ、 FCAJ会員体験記

レストランの厨房、アトリエやオフィス、商品の売り場等、食に関連のある現場で活躍するプロの方たちより伝授で、FCAJ会員がその技を学びます。

### 体験会員：越智 裕子さん

広島県在住。大学卒業後、結婚して県内で19軒の飲食店を経営する家業を手伝い、メニュー開発や内装などに携わる。当協会2級(レストランプロデュース)取得。



## 「金継ぎ」

器の割れや欠け、ヒビを漆で接着して金で装飾する、日本古来の修繕技法である金継ぎ。近年では金継ぎ教室が増えてブームとなっており、装飾しながら修繕するという日本ならではの美意識が感じられるものとして、海外からも注目されています。

講師の増田結衣さんは、陶芸や木工、金工、縫製等のシェア工房兼ワークショップ「Makers' Base Tokyo」で金継ぎや陶芸を教えています。今回はワークショップでも行っている、漆の代替素材を用いた方法を教わりました。漆の場合は乾燥させてぬる作業をくり返すため完成までに数週間かかるのに対し、樹脂のパテや漆風塗料であれば2時間程度ででき上がるので、初心者向きだそうです。

体験者は越智裕子さん。夫が広島で和食やフレンチ、イタリアン等の飲食店を経営しており、各店舗のメニュー開発や企画などを手伝っています。

「店の什器が割れたり欠けたりすることが時々あるのですが、捨てるには忍びなく、かといって使うこともできず保管しているの、自分で修繕してまた使えるようにしたいです」(越智さん)

金継ぎは木製以外の陶磁器やガラスなら何でも修繕可能。越智さんは備前焼の花入れを持参しました。口の一部分が欠け、ヒビも入ってい

ます。欠けた部分はエポキシ樹脂で作られたパテで補い、指で触っても凹凸を感じなくなるまで紙ヤスリで削ってととのえます。越智さんは最初につけたパテが大きすぎではみ出してしまったため、アールナイフで削るなど、ととのえるのに時間がかかりました。紙ヤスリの粗さは数字で表わされますが、金継ぎには土台の器を傷つけずパテだけが削れる400番を使用。ただし、上絵が施された器の場合は、絵柄も削れてしまうので注意が必要とのこと。

パテをつけた部分とヒビは、金箔を混ぜた漆風塗料をぬります。「下地が見えなくなるようにぬりましょう。塗料が多すぎて盛り上がりつつも、それはそれで味が出て良いですよ。少しはみ出すくらい感覚でぬるのがコツです」(増田さん)ぬり終わったら、持ち帰りやすいよう、乾燥機で軽く乾燥。その後1日程度は置いたほうが良いとのこと。

「予想以上にきれいに仕上がって感動しました。材料もホームセンターで手に入りやすいようなので、早速揃えて他の器でも挑戦してみます」この他、割れた器の金継ぎについても実演を交えて教えていただき、充実した内容になりました。

## ■金継ぎの作業工程

欠けとヒビの修繕方法を教えていただきました。

①エポキシパテをカッターナイフ等で輪切りにする。芯と外側の2層になっているので、ピザをカットする時の要領で必要量を切り出し、2層が均一に混ざるよう、指先ですりつぶすように練る (a)。

②欠けた部分に①をつけ、指先に水をつけ、形をととのえる (b)。5～10分程度置いて表面がかたまったら、水にくぐらせた耐水紙ヤスリ(400番)で削ってととのえる (c)。パテのはみ出しが多い場合はアートナイフで削る (d)。

③適当な大きさに切ったクリアファイルに、工芸漆4：金粉(真鍮粉)1を出して筆で混ぜ合わせ、テレピン油を1～2滴加えてなめらかにする (e)。②のパテやヒビの部分にぬる (f・g)。途中、塗料がかたまってきたらテレピン油で伸ばす。



完成品



東急東横線都立大学駅から徒歩2分の「Makers' Base Tokyo」。1階では工房を利用している作家の作品を販売している。2～5階が工房で、陶芸やシルバーアクセサリー、革製品、腕時計等のワークショップを開催。



割れと欠けを修繕した作品例。割れた部分は陶器用のエポキシ接着剤で接着している。金属製の粉や、高温に弱い漆風塗料を使って金継ぎしたものは、電子レンジやオーブン、食洗機などが使用できない。



左からエポキシパテとエポキシ接着剤、金粉と工芸漆。パテは商品によってかたまる時間が異なる。接着剤は2種類の溶剤を混ぜ合わせて使う。



講師：増田 結衣さん

1993年神奈川県生まれ。美術大学で陶芸を学び、卒業後の2017年から「Makers' Base Tokyo」で働く。

Makers' Base Tokyo

東京都目黒区中根1-1-11

☎ 03 (6421) 1571

<https://makers-base.com>

### 体験者募集！

FCAJ会員だけの特別企画。経験の有無に関わらず、興味のあるテーマにまずはトライしてみましょう！ご希望の方は事務局までご連絡ください。希望者が多い場合は抽選により決めさせていただきます。体験の日時は、講師側と希望会員両者の都合により設定します。なお、体験講座の費用は無料です。交通費は実費でお支払います。

【体験テーマ】

### クラフトビール

都心のブルワリーで造られているさまざまなクラフトビールの醸造方法や、各種の飲み比べ、料理とのマッチングなどを教えていただく。

【講師】

### スプリングバレーブルワリー東京

【受講場所】

スプリングバレーブルワリー東京

(東京・代官山)

<http://www.springvalleybrewery.jp>

【体験日】 2018年3月

【応募メ切】 2018年1月31日